

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

p-プロモフェノールのオオミジンコ (*Daphnia magna*)に対する急性遊泳阻害試験

試験番号

7 B 7 4 9 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.202「ミジンコ類，急性遊泳阻害試験および繁殖試験」（1984年）に準拠して実施した。

- 1)被験物質： *p*-プロモフェノール
- 2)暴露方式： 止水式
- 3)供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4)暴露期間： 48時間
- 5)試験濃度(設定値)： 対照区，3.00，5.00，7.00，10.0，12.0，18.0 および 30.0 mg/L
(公比 1.5)
- 6)試験液量： 1 容器 (連) に付き 100 mL
- 7)連数： 4 容器 (連) / 濃度区
- 8)供試生物数： 20頭 / 濃度区 (1 連に付き 5 頭)
- 9)試験温度： 20±1℃
- 10)照明： 16時間明 / 8時間暗
- 11)被験物質の分析： H P L C 法

結 果

1)試験液中の被験物質濃度

被験物質の実測濃度がすべて設定値の±20%以内であったので、各影響濃度の算出には設定値を採用した。

2)24 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EiC50) : 7.55 mg/L (95%信頼限界 : 6.63~8.51 mg/L)

最大無作用濃度(NOECi) : 3.00 mg/L

100%阻害最低濃度 : 18.0 mg/L

3)48 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EiC50) : 4.18 mg/L (95%信頼限界 : 3.00~5.00 mg/L)

最大無作用濃度(NOECi) : 3.00 mg/L

100%阻害最低濃度 : 7.00 mg/L